

ラウドネス ロガー

ver 1.10

仕様書

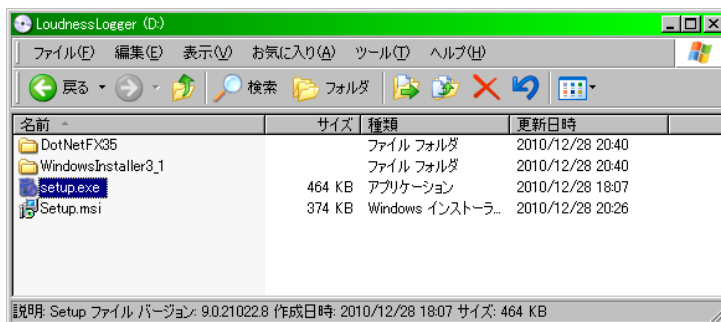
1. 必要システム

オペレーティング システム:	Microsoft Windows XP (日本語版) Microsoft Windows Vista (日本語版) Microsoft Windows Server 2003 (日本語版) Microsoft Windows Server 2008 (日本語版)
コンピュータ本体:	400MHz Pentium 及び 同等のプロセッサ (最小構成) 1GHz Pentium 及び 同等のプロセッサ (推奨)
メモリ:	96MB (最小構成) 256MB (推奨) アプリケーションでは、メモリは3MB必要となります。
ハードディスク:	インストールには 500MB以上の空き容量が必要
ディスプレイ:	800 x 600、256色 (最小構成) 1024 x 768、High Color 32ビット (推奨)

2. インストール方法

- [1] インストールディスクをインストール先のパソコンの CD ドライブに挿入します。

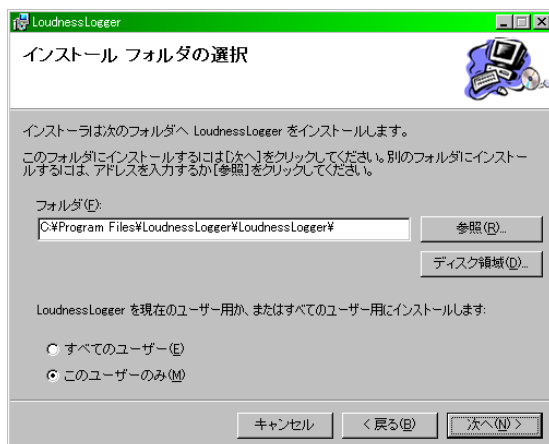
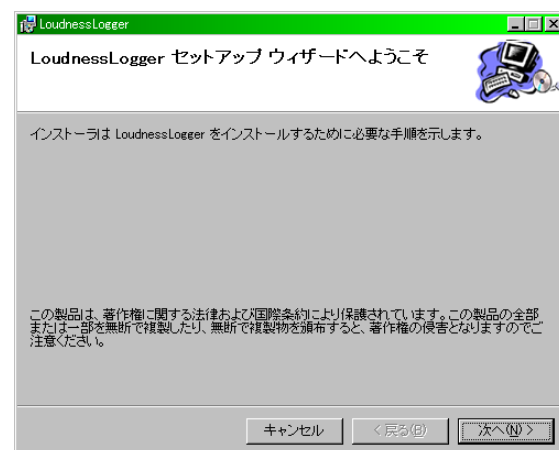
- [2] エクスプローラーにて、CD フォルダを開き、「setup.exe」を実行します。



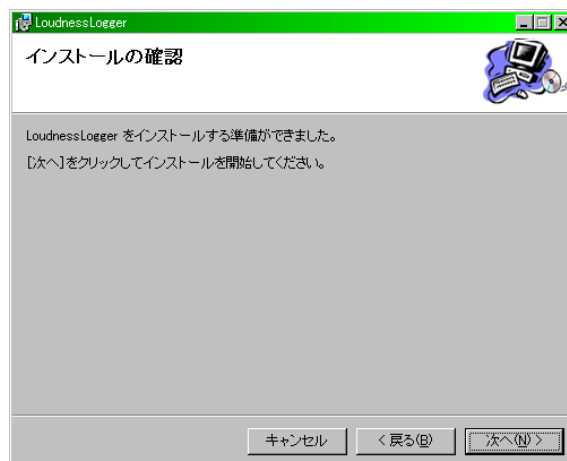
- [3] セットアップ画面表示され、「同意する」をクリックします。（「.NET Framework 3.5」が、すでにインストールされている場合は、表示されません。）



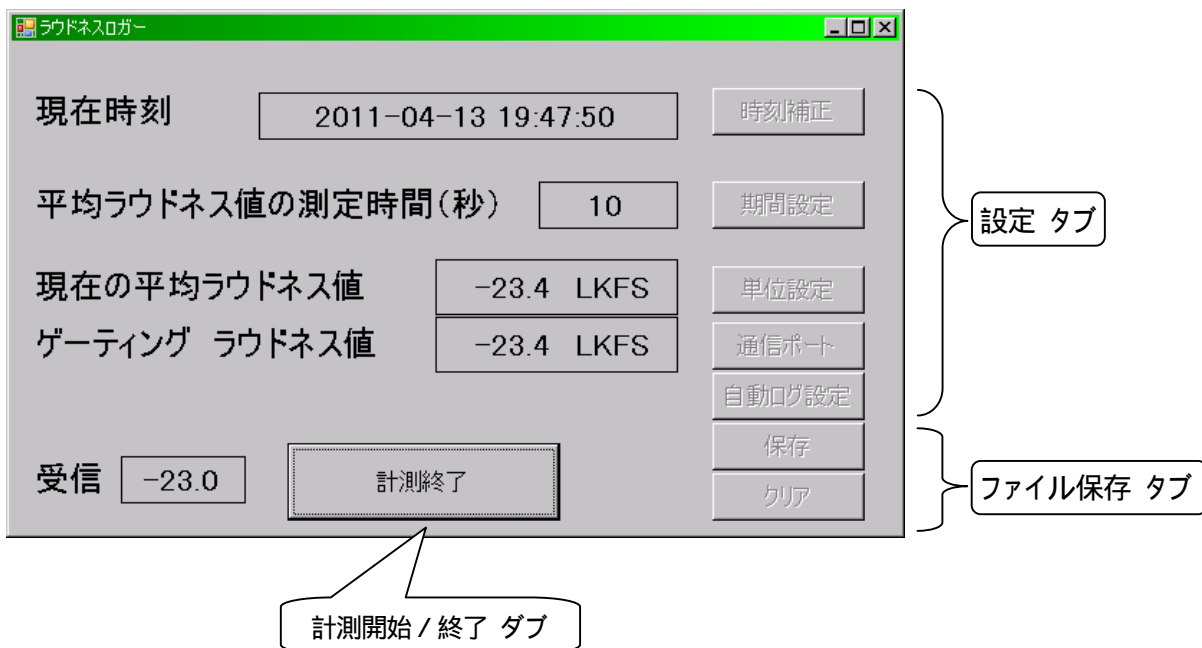
- [4] セットアップウィザードが表示されますので、「次へ」をクリックします。
- [5] インストール フォルダを選択し、「次へ」をクリックします。



- [6] インストールの確認画面が表示されますので、「次へ」をクリックすると、インストールが開始されます。
- [7] デスクトップに「LoudnessLogger」のショートカットが作成されます。このショートカットにて、アプリケーションを起動します。



3. 動作説明

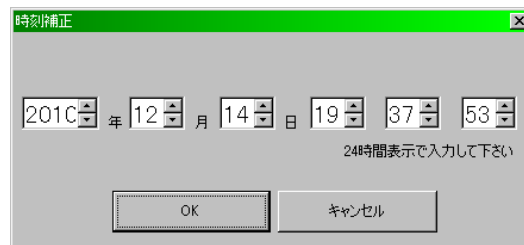


- 「計測開始」タブをクリックすることで、計測スタートし、タブは「計測終了」表示となります。
- 最大計測データ数は、65000個になります。(測定時間 15秒で、約11日間)
- 計測終了させる場合は、「計測終了」タブをクリックします。
- 未計測時は、「ラウドネス値」表示は“xx.x”となります。
- 計測終了し、データがある場合、「保存」と「クリア」のタブがアクティブ表示されます。計測データを保存する場合は、「保存」タブをクリックし保存してください。計測データをクリアする場合は、「クリア」タブをクリックします。
「自動ログ設定」で【自動ログ保存機能】を“有効”に設定している場合は、【自動保存サンプリング】で設定した時間ごとに自動保存されます。
- 「現在の平均ラウドネス値」は、平均ラウドネス値の測定時間で設定されている期間のラウドネス値が表示されます。
まだ計算結果が計算されていない場合は、“xx.x”表示となります。
計測データが無音状態の場合は、“-99.9”表示になります。
(CSVファイルでのグラフ化の都合による)
- 「ゲーティング ラウドネス値」での仕様は、下記の通りです。
アブソリュートゲーティングレベル = -70 LKFS (LUFS)
リラティブゲーティングレベル = -10 LU
オーバーラップ量 = 75 %
計測データが無音状況などで、平均ラウドネスの測定時間内で数値が得られない場合は、“xx.x”表示になり、保存データは“-99.9”となります。
(CSVファイルでのグラフ化の都合による)

- LM - 860からの計測データ受信が正常に行なわれていると、カレントラウドネス値が「受信」に“数値”表示されます。その時、受信データが無音の場合は“- 99.9”表示となります。データ受信されていないと、“- -”表示となります。

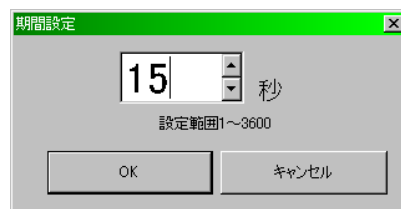
4. 各タブの動作説明

時刻補正: 現在時刻の設定を行ないます。
ログ記録の際の時間情報になります。



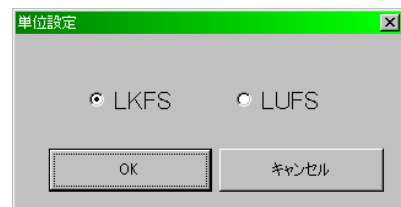
時刻補正 dialog box showing date and time selection. The date is set to 2010年12月14日 and the time to 19:37:53. A note below the time field says "24時間表示で入力して下さい". Buttons for OK and キャンセル are at the bottom.

期間設定: 平均ラウドネス、ゲーティングラウドネス測定の期間を設定します。設定可能範囲は、1秒から3600秒(1時間)で、この期間に対し、1個のラウドネス値が計測されます。



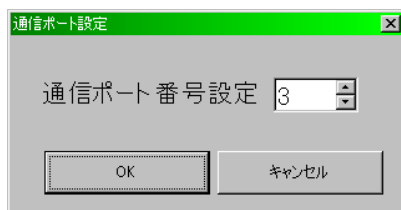
期間設定 dialog box with a spin box set to 15 seconds. The range is noted as "設定範囲1~3600". Buttons for OK and キャンセル are at the bottom.

単位設定: ラウドネス値の表示単位を設定します。



単位設定 dialog box with radio buttons for LKFS (selected) and LUFS. Buttons for OK and キャンセル are at the bottom.

通信ポート: 通信ポート番号を設定します。使用されるパソコンにて通信ポート番号を確認し、その番号を入力します。



通信ポート設定 dialog box with a spin box set to 3. Buttons for OK and キャンセル are at the bottom.

自動ログ設定:

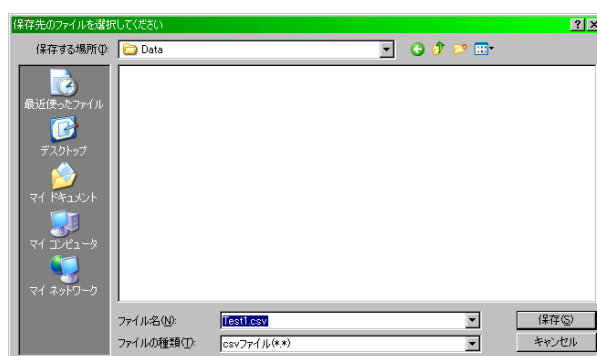
計測データの自動保存機能を設定します。自動保存「有効/無効」の設定、自動保存先の選択、自動保存サンプリング時間(自動保存間隔)の設定をします。自動保存サンプリング時間は、1~240時間/1時間ステップで設定可能です。

データ数が 65,000 以上になる設定をした場合は、計測開始時に警告メッセージを発生し、自動的に 65,000 以下になるよう時間を変更します。

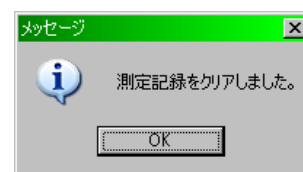
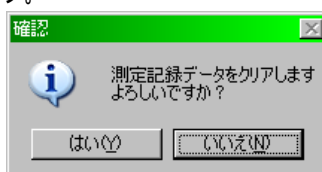


ログ設定 dialog box with radio buttons for ログ自動保存機能 (有効 selected, 無効). Below is a field for ログ自動保存先 (C:\Documents and Settings\fourbit\Desktop) with a 選択 button. The bottom section has a spin box for 自動保存サンプリング set to 3 時間. Buttons for OK and キャンセル are at the bottom.

保存: 計測データをCSVファイルにて保存します。保存先のフォルダを選択し、ファイル名を入力して保存します。

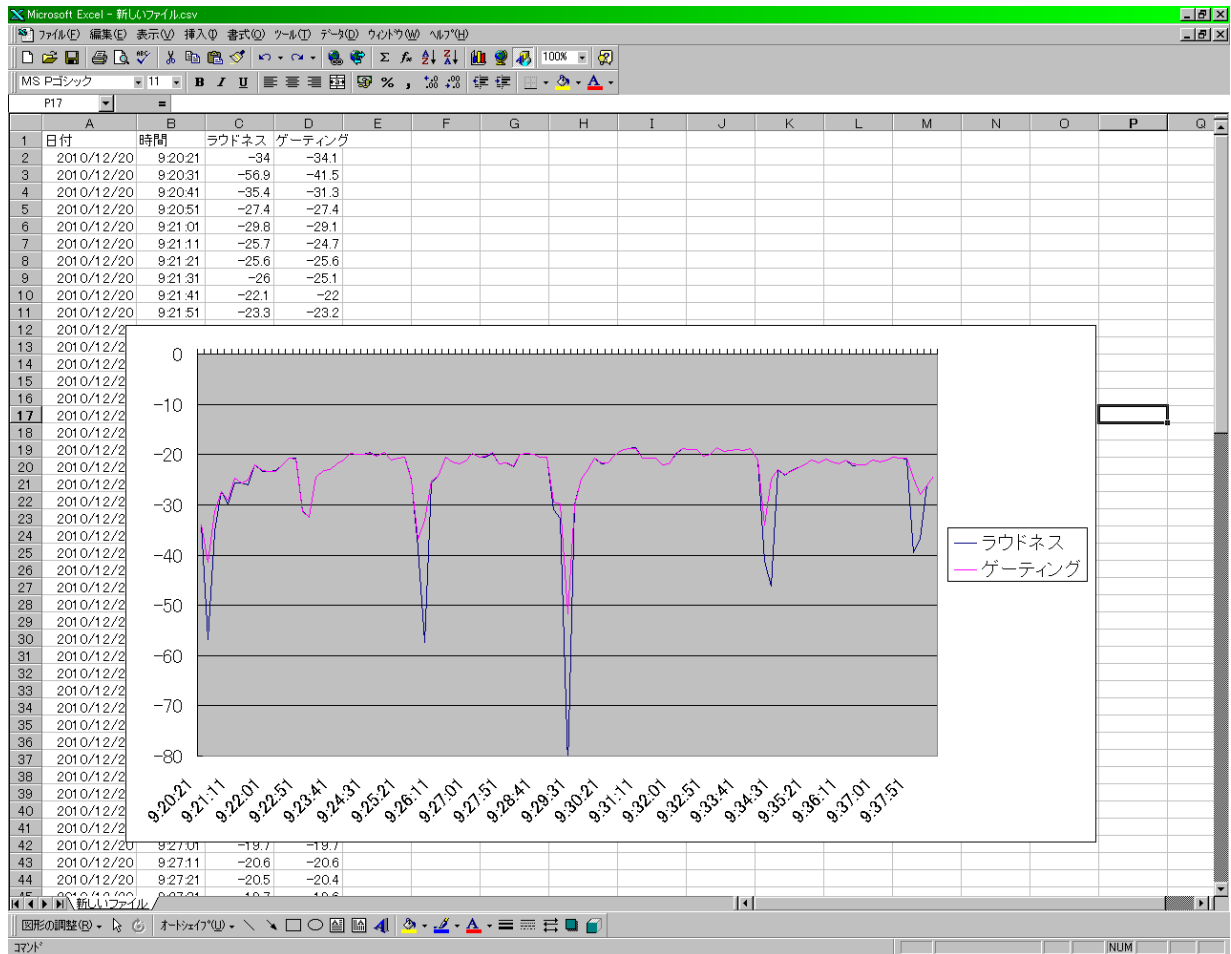


クリア: 計測データをクリアします。クリアせずに「計測開始」/「計測終了」を繰り返すと、計測データは、追記されていきます。



5. 保存したファイルの利用例

下記は、保存されたcsvを利用し、ラウドネス計測値をグラフ化したものです。



仕様および外観は改善のため予告なく変更することがあります。